

お天気解説

アキラのズバッと

最も寒い期間「大寒」に・・

令和8年1月30日

江戸川区気象防災アドバイザー 藤井 聰

暦で最も寒い時季とされる大寒は節分(今年は2月3日)までの期間を云うことがあります。実際、毎日の最高・最低気温の平年を調べると、この期間が最も低くなります(右図参照)。

東京地方では、この時季いつも晴れることが多いですが、日本海側は最も雪が多くなります。1963年1月、北陸を中心に豪雪となり、積雪が富山で186cm、金沢で181cm、福井では

213cmにもなりました。積雪が3m以上になった地域も多く、線路や道路の日々の除雪に必死でしたが、翌朝はまだ雪が深く積もってしまい、除雪が追い付きました。校舎が雪にすっぽり埋もれた学校は、雪に穴を掘って2階から入りました。生活できなくなった住民が集団で離れた村もありました。この豪雪により犠牲者が

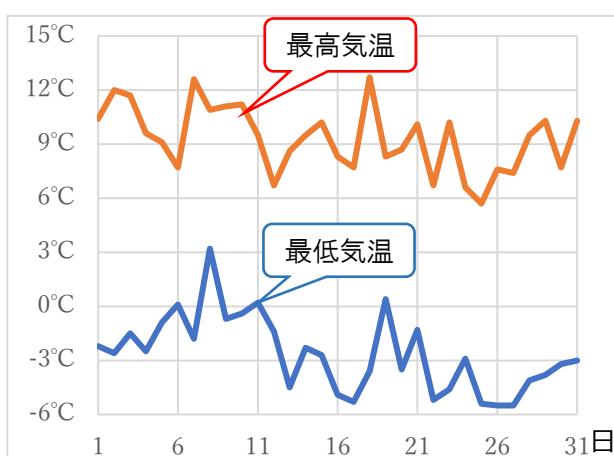


図2 東京都心の最高・最低気温(1963年1月)



図1 1・2月最高最低気温の平年(江戸川臨海)

全国で200名を超える気象庁はこの豪雪を「昭和38年1月豪雪」(三八豪雪)と命名しました。東京では毎日晴れた日が続きましたが、最低気温が氷点下になる「冬日」がほぼ毎日でした(図2)。大寒のころである1月下旬は、都心の最低気温が-5°C以下になった日も多かったです。湿度がとても低く6%にもなった日もあり、月間の降水量は僅か0.2ミリ。その後、春も雨が少なく、都内では日暮里などで大規模な火災が発生しています。

| 2026年01月30日11時 気象庁 発表 | | | |
|-----------------------|--------------|--------------|---------------|
| 日付 | 今日 30日(金) | 明日 31日(土) | 明後日 01日(日) |
| 東京地方 | 晴 | 晴 | 晴時々曇 |
| 降水確率(%) | -/-/0/0 | 0/0/0/0 | 10 |
| 信頼度 | - | - | - |
| 東京 気温 (°C) | 最高 9 | 9 | 10 (8~11) |
| 最低 | - | 0 | 1 (-1~2) |

東京地方の週間天気予報より

(気象庁HPから抜粋)

週末は晴れて、日中の気温は平年並み前後になります。湿度が低いので火の取り扱いには十分に注意してください。

クリックすると気象庁による新しい情報が見られます。